

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農業	畜産	4	3	生物生産科	選択

(1) 科目のねらい、使用教材など

科目のねらい	2年次に習得した家畜飼養に関する知識や技術の基礎・基本を活かして、応用することができる技術を習得する。また、プロジェクト学習を通して更に知識や関心を深める。
使用教材など	畜産（実教）

(2) 年間予定

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一学期	4 5 6 7	51	・プロジェクト学習のテーマ設定および進め方 ・和牛全国共進会に向けた学習・体尺 ・家畜審査競技会の学習 ・やまがた地鶏のふ化、飼養 ・家畜の生理生態 ・飼料作物の刈り入れ ・堆肥の管理と利用	・プロジェクト学習では自らテーマを設定し、自発的に学習を進める。 ・黒毛和種、ホルスタイン種の各部位や名称を理解する。 ・家畜の生理生態を理解する。 ・飼料作物の名称や堆肥の管理方法を理解し、実習に取り組むことができる。
二学期	8 9 10 11 12	50	・和牛全国共進会に向けた学習・体尺 ・飼料作物の刈り入れ ・やまがた地鶏の出荷、ふ化、飼養 ・もみ殻の収納 ・プロジェクト学習の中間まとめ ・畜舎の越冬準備	・飼料作物の刈り入れ方法、保管方法を理解する。 ・やまがた地鶏の生理生態や一生を理解する。 ・プロジェクト学習をまとめる能力、発表力を身に着ける。 ・畜舎の環境整備の意義を理解し、家畜が快適に過ごせる飼養管理に取り組むことができる。
三学期	1	4	・プロジェクト学習の総まとめ	・プロジェクト学習で行なったことを理解し、まとめることができる。

(3) 評価の観点

観 点	a : 関心・意欲・態度	b : 思考・判断・表現	c : 技能	d : 知識・理解
観 点 の 趣 旨	管理作業や座学から畜産に関する技術や知識を得ようとする	目的や場に応じて、仲間と相談しあいながら自分の考えをまとめ行動できる	目的や場に応じた適切な管理作業ができる。	畜産での管理作業をスムーズに行うことができる 畜産に関する知識を身につけ、管理作業と結びつけることができる
主 た る 評 価 方 法	実習態度の観察 記述の点検 (プリント、日誌等)	実習態度の観察	実習態度の観察	実習態度の観察 記述の確認 (プリント・日誌等) 定期テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

(4) 評価項目・評価点など

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	年間5回実施する。自分に取り組んでいるプロジェクト学習の内容を理解しているか。また、本校畜舎の現状を把握し、日頃の管理内容を理解して取り組んでいるか。	40点
②意欲・関心・ 態度・技能	正しい服装で積極的に授業に取り組んでいるか。また、遅刻や欠席をせずに周囲と協力して安全に実習に取り組んでいるか。施設設備の名称や用具の名称を覚え、適切な使用や管理ができるか。	50点
③実習日誌・ 調査記録	毎時間の作業内容や調査内容を理解し、正確に記録してあるか。また、記録用紙や実習日誌が整理されているか。	10点